

学校部門 優秀賞

鹿児島県立喜界高等学校

喜界町

団体の紹介・活動の目的

隆起珊瑚礁で知られる喜界島。本校は島唯一の高等学校であり、創立73年を迎えた普通科・商業科からなる全校生徒145名の小規模校です。喜界中学校と連携型中高一貫校を形成し、行事を共同開催しています。令和5年度より全国からサンゴ留学生が入学し、学校ひいては地域活性化の原動力になることが期待されます。

少子高齢化の進んでいる喜界島においては、高校生は「観光」「ボランティア」「祭りや伝統芸能」「農作業の手伝い」などの重要な担い手であると同時に、島おこしにつながるような取り組みを行うことも期待されています。そこで、「がじゅまる（＝総合的な探究の時間）」や商業科の専門科目である「課題研究」の時間を中心として、町役場、学術機関、企業、個人商店などと協働して、さまざまな企画を立案し活動しています。

連携・協力している団体など

喜界中学校、喜界町役場、喜界島サンゴ研究所、喜界島言語文化保存会、喜界町埋蔵文化センター、喜界島観光物産協会、喜界島薬草農園、ゆいカフェ、ウルコーヒー など

活動の内容

島に関する様々な分野の専門家による講演を通して問題意識を高め、解決に向けてグループ単位で地域の方々と連携して活動しています。

研究成果の例としては、島に多く繁茂するサクナ（長命草）を利用して長寿に利する菓子を作りたいという本校生の発想を生かして、鹿児島市内の洋菓子店監修・製造、喜界島の事業所発売の「サクナクッキー」が作られました。その他、「こどもたちが住みやすい環境をつくるには」、「喜界島の方言が危機」などのテーマの下、島民の方々と連携して課題解決のために様々な取組を行っています。



清掃ボランティア

毎年行われてきた、生徒主体による海岸清掃ボランティアです。令和3年度からは、拾得物を分析し、その後の探究活動につなげています。



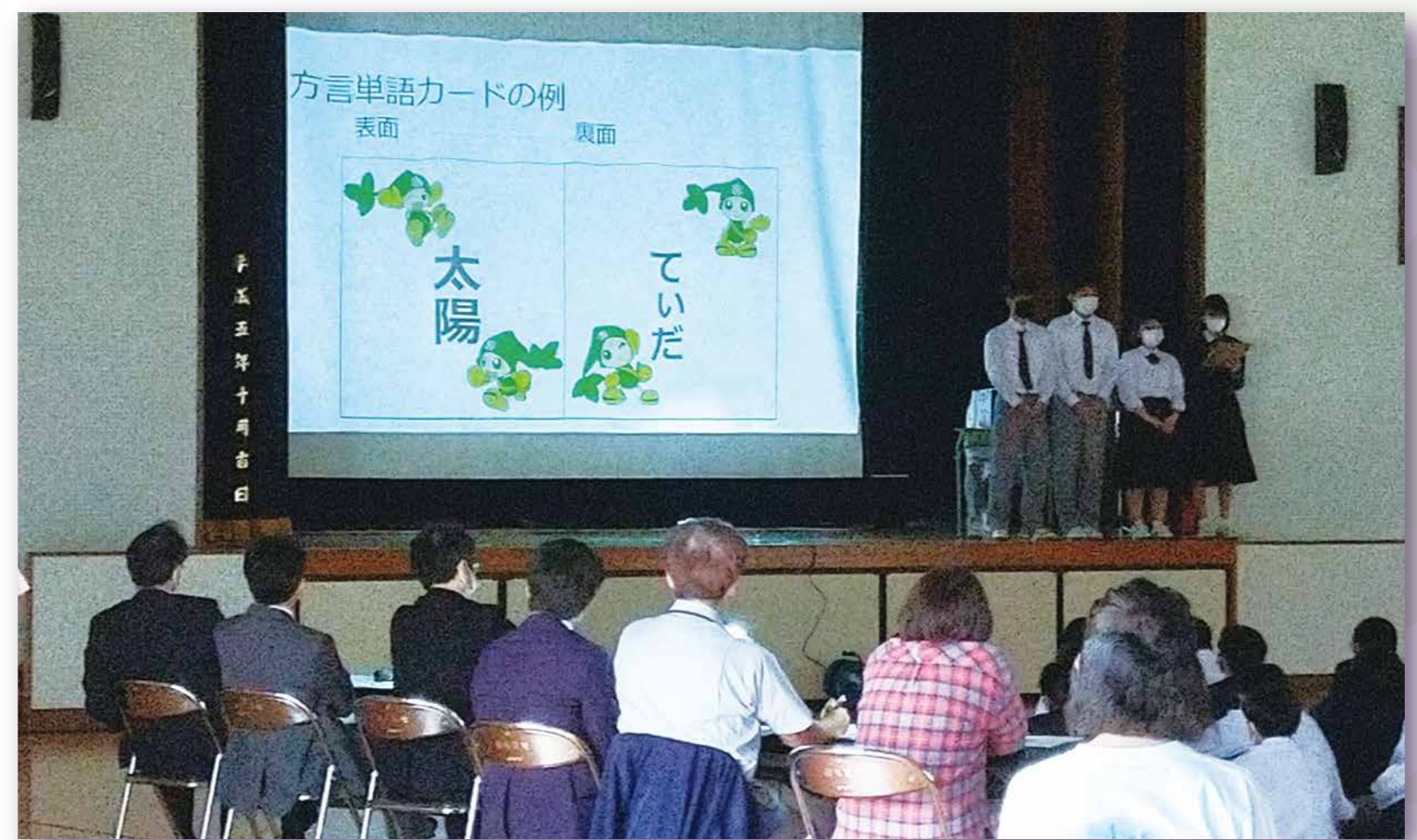
小学生との交流

職場体験で訪れた地元の小学校です。緊張した様子が伺えますが、準備を重ねてきたレクリエーション活動で子どもたちを笑顔にしていました。



喜界島散策活動

慣れ親しんだ喜界島にもまだまだ知らないことがあります。みんなで散策しながら新しい発見を楽しみました。写真は城久（グスク）遺跡群です。



中高合同発表会

一年かけて取り組んできた探究活動の成果を、中高生や保護者、来賓の方々の前で堂々と発表しました。